

配給供出関係史料概要

1: 文書群番号	077007
2: 文書群名	配給供出関係史料
3: 出所	田中トヨカ氏
4: 家業・役職等	未詳
5: 地名	尼崎市
6: 行政区分	尼崎市
7: 歴史	供出制度は、昭和14年（1939）の米不足を契機に国が米麦を直接統制したことに端を発している。17年に食糧管理法が成立すると統制は本格的なものになり、戦局が激しくなると、臨時供出として食糧以外のもの（金属・貴金属）の供出も行われるようになった。配給制度も輸入品等臨時措置法（昭和12年）にもとづく工業原料の統制からはじまり、食糧管理法制定以降は、供出と同様により強力な物資統制がおこなわれた。統制体制は戦後まで続き、新たな体制の下、食糧を中心に供出・配給が行われたが、昭和27年には主食以外の配給は実質的に廃止された。
8: 伝来	光伸浩氏が、義母・田中トヨカ氏が保管していた当史料群を、トヨカ氏死去に伴い昭和53年3月に史料館に寄贈。
9: 史料入手先	光伸浩氏
10: 点数	52点（目録件数29件）
11: 年代	昭和19年（1944）～同27年
12: 構造と内容	本文書群は戦前の供出関係史料と戦後の配給関係史料からなる。供出関係史料は、供出物資を統制する中央機関である交易営団に、ダイヤモンドの指輪を供出した際の引取先百貨店の領収書。配給関係史料は、戦後の食糧配給切符で、米穀通帳をはじめ、パン・うどん・野菜・水産加工物・みそ・醤油・塩・漬物・石鹼・油脂類の引換券がある。
13: 関連史料	なし
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	坂江 愛